

愛国ピザ！ F**k Joe Biden 政治パイがアメリカ全土で大流行

Kelen McBreen

November 16, 2021

<https://www.infowars.com/posts/pizza-patriots-fk-joe-biden-political-pies-are-a-hit-across-america/>

⇒すばらしいピザ・チェーン店が、反バイデン・スローガンで出回っている。

「Solorzano のピザ」、3つの州に支店をもつピザ・チェーン店が、「スリーピー・ジョー・バイデン」を揶揄する巧妙なパイとして、ネット上で大流行している。

[訳者注] この FJB (ファック・ジョー・バイデン) ピザは、美味かつ滋養豊富なのであらゆる人に賞味をお勧めする。わが国へも輸入されるべきものだが、わが国では、メディア・政治関係者をはじめとして、上品な方々が多いので、お口に合わないかもしれない。

メディアの戸惑い：なぜ 99.5%がワクチン接種している都市が、極端に感染率が高いのだろうか？

Infowars.com

November 16, 2021

<https://www.infowars.com/posts/watch-media-confused-why-city-with-99-5-vaccinated-has-extremely-high-infection-rate/>

⇒アイルランドのウォーターフォードは、世界で最高のワクチン接種地域の一つなのに、この国の最高の感染率を示している。

アイルランドのメディアは、なぜ Waterford 市でこういうことが起こっているのか、戸惑っている。

Sky News からの報道で、ワクチン注射を打ったのに Covid に罹った、ある男性に記者がインタビューをしている。

「人々は、ワクチンは金属の鎧のようなもので、完全な免疫を与えていると思っているが、明かにそうではないのだ」と、彼は言った。

「その防壁で有名なこの都市で、このワクチンは高い感染率に対して、防御にはならなかった」と記者は言った。

「かなり驚嘆すべき 99.5 パーセントという 18 歳以上の成人全体が、今、完全にワクチンを受けている。これはアイルランドで最も高い接種率であり、世界で最高の数値の 1 つと考えられている。

「それにもかかわらず、ウォーターフォード郡は、現在、この国で最高の感染率になっている。なぜなのだ？」

この報告はそこから、イギリス全体の旅行とか怠慢な衛生管理を、感染の急上昇のせいにしており、一方、この報告でインタビューされた、ある科学者は、このワクチンで感染率は下がり続けていると主張している。

「スカイ・ニュース」は、ワクチンそのものが、高い感染率の原因になっているのかどうかは、問わなかった。

[訳注] この最も問われてよい質問が問われないのは、わが国も同じである。

ジブラルタル：全人口のワクチン接種にもかかわらず、クリスマスは中止

Paul Joseph Watson
November 17, 2021

<https://www.infowars.com/posts/gibraltar-cancels-christmas-despite-entire-population-being-vaccinated/>

⇒Covid 患者急騰：マスク命令、100 パーセント・ワクチン励行にもかかわらず。

ジブラルタルでは、公的クリスマス行事が中止され、Covid 患者の「指数関数的」急騰と戦うために、集会を避けるよう指示が出された——成人人口の全体が、完全ワクチン接種を行っているにもかかわらず。

「地球上で最もワクチン接種の進んだ場所」——公的に 118%以上——として知られている、英領海外領土ジブラルタルの人口は、完全にワクチン接種を受けているが、この数値は、毎日、スペイン人がこの国で働くために入国するからである。

この事実は、保健相が「最近数日間の Covid-19 陽性反応者の人数の劇的な増加」と呼んでいるものを、防ぐのに何の役にも立たなかった。

この増加を「指数関数的」と呼んだ Samantha Sacramento は、最近 7 日間の、1 日当たりの Covid 患者が、平均 56 人になっていると指摘し、これは、1 日 10 人以下だった、9 月よりもかなりの増加である。

この急騰に応じて役所では、人々が私的なパーティを行わないように「強く」忠告し、一方国家は、公的なクリスマス・パーティ、公的レセプション、その他、類似の集会を中止した。

この領地の人口全体が、ほとんど 6 か月前から完全にワクチン接種しており、マスクは、公的輸送車、屋内商店、また多くの場所で、この期間を通じて命令されている。

ワクチンはまた、すでに 5 歳という幼い子どもにも励行されており、ブースター注射は、現在、40 歳以上に与えられている。

RT がこう注意している：——「同じように十分にワクチン注射を行った国々でも、最近、Covid-19 感染が急拡大しているという報告がある。シンガポールでは、94%の有資格人口が接種を行っているが、患者と死亡者が、10 月末には、記録的な数値に舞い上がり、その後はわずかながら収まっている。アイルランドでは、成人人口の 92%ほどが完全ワクチンをしているが、Covid-19 患者と、ウィルスによる死亡者が、8 月以来、ほぼ倍増した。」

もし、もっと多くの人々がワクチンを打ってさえいけばなあ、この利己的なワクチン否定過激派どもよ！

おいおい、ちょっと待ってくれ…

ワオ!! ファウチが破局的なワクチンの失敗を認めた

しかしブースターと未接種者の注射に（ユダヤ人問題）最終解決を見ている

Harold Saive (SOTN への寄稿)

November 16, 2021

<http://stateofthenation.co/?p=96284>

【訳者】 これはファウチの言葉を、我々の前記事よりもっと正確に紹介しているので、翻訳することにした。その言葉遣いによってファウチの真の意図が読み取れる。

ファウチ博士はこの緊急の警告を、ワクチンを受けた人々に向けて発した：——

人々は、免疫効果が薄れていくのを、感染に対してだけでなく、入院に対しても、ある意味では死に対しても、感じている。それは今、すべての年齢集団について、言えるようになり始めた。単に高齢者だけではない。

それは今、ますます多くの人々に、止められない感染 (breakthrough infections) が起っていると、誰にもわかるほどに、効果が薄れつつあり、また、止められない感染が起っていると、ますます多くの人々が、病院で最期を迎えつつある。

ファウチは、この忌まわしいワクチンの失敗によって、ブースターや未接種者への注射が必要になるように、もっていかようとしている。

ワクチンをしていない者にそれを強制し、ワクチンをしている人々には「強引に」 (aggressively) ブースターを与えることで、アメリカをより安全な場所におくことが、この冬にはできそうだ。そしてこれは、以前の波でこの国の体験した数か月間や、2020年の残酷な冬よりもよさそうだ、とファウチは言っている。そして、もっと時間が経て

ば、ブースターが、どれくらい長く人を、Covid から保護するかがわかるだろう、と。
——しかし、ファウチは楽観的である。

「私が思うのに、結局のところ、何だかんだ言っても、最初からワクチンを打っていた圧倒的多数の人々に、我々がブースターを打たせ終えたときには、やはりブースターは必要なのだ、ということになりそうなのだ。それは何回分も必要になる、他のワクチンと同じで、hepatistis B（肝炎）や、ある種の子どものワクチンと同じことなのだ」と、彼は説明した。

「私は一人の免疫学者として、感染症の人間として、私自身の個人的な計画を立てている。我々はまだ証明を得ていない——プディングの証明は、あなたが人々にワクチンを打たせ、ブースターを与えた後に分かることだ。そのとき我々は、そう簡単に消えることのない、より強力な保護の耐久性を手に入れるだろう。」

[訳者 Greatchain]

ここに巧妙にまとめられている短い文章から、ファウチについて、いろんなことがわかってくる。まず、この人物に向けられているかもしれない、悪人という見方は捨てるべきであろう。彼は、いわゆるグローバリストのような悪人ではない。その代わりに、彼の異常な、自己中心的な、自信と傲慢——特に最後の数行に現れている——は、人を震えさせると言ってもいいものだ。彼の言った「私に反対する者は、科学に反対する者だ」という言葉は、人を驚かせたが、これがハッターでも強がりでもなく、正直な言葉であることは、ここから明らかである。彼が、必要もないのに犬を虐待して死なせた事実が、最近、暴露されたが、彼が異常者であることを証明している。

異常者だろう何だろうが、科学者として正しければいいのではないか、とい人があるかもしれないが、私はそれを取らない。科学——特に医学や医療——において、異常者は科学者にはなれない。ファウチは「自然免疫」を認めようとせず、自分の科学を押し通そうとするが、これは考えてみれば、人工免疫を押し通すだけでなく、自然治癒そのものを否定することである。医者や医療者が、それを言い出したらどうなるか？ それは神を否定して、自ら神を演ずることである。「神（自然）に訊ねてみる」という姿勢のないところに、医者の道など開けてこない。そしてそのエセ医者を帝王として信用する社会にも、（我々の生き方も含めて）道は開けてこない。